

2023 年度 第 9 回 2 月期定例番組審議会議事録

1. 開催の日時 2024 年 2 月 14 日（水）
2. 開催の場所 栃木放送本社会議室
参加できない委員には資料を送付して番組をお聞きいただき、意見・感想を返信してもらう形式で開催。
3. 委員の出席 委員総数 9 名
返信総数 4 名
出席総数 5 名

出席委員名	委員長	増田仲夫
	副委員長	河又弘子
	委員	竹内明子
	委員	大森玲子
	委員	石松英昭
	委員	和久井要子
	委員	佐子達仁
	委員	若井明香
	委員	鈴木正人

4. 議 題
- （1）「開局 60 周年記念 とちぎフルーツフェスティバル 2023
さかはし矢波と仲間たち～」について
放送日 12 月 24 日（土）14:00-15:00
- （2）その他
民放連放送基準の改正・「番組出演者への誹謗中傷に関する留意事項の策定」について
5. 議事内容
- （1）「開局 60 周年記念 とちぎフルーツフェスティバル 2023
さかはし矢波と仲間たち～」について
番組視聴：放送した番組を各委員に送付して試聴して頂きました。

議題説明

栃木市出身で東京フィルハーモニーオーケストラのフルート奏者であるさかはし矢波氏がパーソナリティを務める栃木放送のクラシック番組、「さかはしやなみの三ツ星クラシック」も放送開始から10年以上経過しました。この番組では毎月1回、県内外で活躍するクラシックの演奏家をゲストに招いています。「友達の輪」的にゲストが次々と出演し、100人以上の音楽家が番組に登場しました。このうち、フルート奏者のゲストも数多く出演しました。

そこで栃木県ゆかりのプロフルート奏者が一堂に集い、様々な形態のアンサンブルを演奏することで、フルートの魅力を広く伝え、県フルート界の振興を図るために栃木放送の開局60周年にあわせ、「とちぎフルートフェスティバル」を開催することになりました。

フルートに特化したイベントとしては全国的にも過去最大の規模となるものです。

2023年12月10日（日）宇都宮市 須賀友正記念ホールで行われた演奏会当日の様子を収録、編集し1時間のラジオ番組として放送しました。

各委員からは

○純粹にオーケストラを楽しむ番組であると感じました。フルートの音色は心を落ち着かせ集中力が高まり放送時間も考えると色々な活用方法が考えられると思いました。ただ、クラシックにあまり詳しくないので説明を聞いていてもよく分からなかったのも、合間に誰しもが聞いたことのあるクラシックや一般的な邦楽・洋楽なんかをクラシック調にアレンジしてオーケストラで楽しむのも良いと思いました。

○音質が素晴らしくよく、感動した。スタジオ録音かと思うぐらい鮮明で、ライブ録音ならではの臨場感もあった。バイオリンやギター、サクソなどに比べ主役を張る機会が少ないフルートで1時間番組がつけれるのかと心配したが杞憂だった。この番組を聴いた人は幸せだったと思う。あえて注文をつけるなら、出演者の紹介がほぼないに等しかったこと。さかはし矢波さんの番組の愛聴者ならともかく、初めて聴いた人は単に「フルート奏者の」ではわからなかったのではないかな。さかはしさん以外の出演者も大勢いたのに誰なのかわからなかった。もう1点は、なじみのない曲ばかりであったこと。エンディングでは聴いたことのあるメロディーがオムニバスで流れていたところをみると、フェスティバルではみんなが知っている曲も演奏したのではないかな。これも著作権などの関係かと勘ぐってしまうが、もっと親しみやすい曲を紹介したらフルート愛好者の輪が広がったのではないかな。演奏を聴きながら、バレエのパドドゥの映像が頭に浮かんだ。これがテレビだったり会場で直に聴いたりしていたら浮かばなかったのではないかなと思う。音でイメージをかき立てることができるラジオならではの良さも発揮された、素敵な番組だった。さらなる良質な音の番組提供をお願いしたい。

○私にはこうしたオーケストラを聴くという機会がなかったので、実際にフェスティバルで生演奏を聴いてみたいという気持ちになりました。フルート奏者の仲間の皆様が出演されたという点で、フルートを演奏してみたいという人たちが増えることを期待します。フルートの音色の心地よい1時間でした。

○クリスマスイヴに放送されたとのことで、非常によいフルートの音色がイヴの日のひとときを華やかにしたように思います。フルートアンサンブルを普段きかないのですが、流れるような旋律とともに、伸びやかな音色が心地よいと感じました。演奏会では決して聴くことのできない奏者の息づかいもひろっていて、ラジオならではの楽しみになりますでしょうか。

○クリスマスの日の午後放送されたということで、ゆったりと、美しい、フルートの音色を、ゆっくり堪能できた。私は音楽について詳しくないが、フルートに特化したこういったコンサートもいいなと感じた。ただ、コンサートの録音を流しているということもあって曲の説明とか、フルート演者の紹介など、初めて聴くリスナー対してあっても良かったのでは。最後に流れた栃木を思っ作曲した曲は本当に、栃木の美しいのどかな自然、豊かな自然を感じさせる非常に良い曲だと感じた。

○フルート演奏だけ1時間聴く機会っていうのはないので、非常に貴重だなという風に思った。司会の方が、中学生では一般的なアンサンブル曲だというお話ありましたが、リスナーや我々にとっては分からない部分が多々あるので、それなりの説明があるともっと親しみやすくなると感じた。例えば、会場では言わないが、番組にする時にここがポイントなので聴いてみてくださいなど。最後の曲は、やはり日本人が作った曲なのか、非常に親しみやすく、1番いい曲でした。ずっと聴いてたいという感じがあったのでやはり番組にする際は素人向けというところも意識されてもいいのかなっていう気がした。

○フルートだけで1時間番組というのが、珍しいと思った。イヤホンで聞いたんですが、とても音色が良く、心地よかったと思います。AM放送で聞くクラシックというのは、こもった印象がありましたが、FMだと本当に音が良くて、色々なフルートの音色が聞こえたので良かった。クラシックというのは、どうしても知らない曲が流れると眠くなってしまうが、意識が飛ぶ前に、聴いたことがある曲があってもいいのかなと感じた。あとやはり番組にする際は、演者などのちょっとした情報は必要と思いました。

○1時間番組、楽しい時間を過ごすことができた。番組が10年続いていることから、多くのファンがいると感じました。以前イタリアのアッシジの路上で聴いたフルートの演奏にとっても感動した経験があり、ラジオでフルートだけの音楽を聴くのはどうかと不安でしたが番組の構成も良く、非常に良い番組だと感じました。

○ラジオ放送は、演奏会とは別なのでクラシック、フルート初心者でもわかるように説明を入れてほしい。他の委員の意見とは違いますが、クリスマスイブの 1 番いい時間帯に放送する価値がある番組なのかと思った。私的にはこの放送を 1 時間聴いているのは苦痛でした。特にフルートの高い音域のところ。知っている曲もなくクリスマスソングのみだった。他の委員の評判が良かった栃木の曲も伸びゆく栃木ではなく私には寂れゆく栃木という感じがした。やはりクリスマスイブはもう少し心を和やかにして頂ける番組を放送してほしいと思いました。

当社としては、これらの意見をもとに、今後の番組制作や広報に取り組んでいきたい旨を、各委員に伝えた。

(2) その他

民放連 放送基準の改正・「番組出演者への誹謗中傷に関する留意事項の策定について

6. 審議内容

上記の通りであり、特に審議決定し、民放連・放送基準の改正・「番組出演者への誹謗中傷に関する留意事項の策定」について答申を戴いた。

7. 番組審議会の意見の概要の公表

- ① 当社の番組「栃木放送からのお知らせ」（2024年2月25日）
- ② 当社のホームページに掲載（2024年2月26日）
- ③ 当社事務局に議事録備え置き（2024年2月26日～）

以上